

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年6月28日(2012.6.28)

【公開番号】特開2010-268055(P2010-268055A)

【公開日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-047

【出願番号】特願2009-115630(P2009-115630)

【国際特許分類】

H 04 N 5/262 (2006.01)

H 04 N 7/26 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/262

H 04 N 7/13 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月10日(2012.5.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像データからオブジェクトを抽出するオブジェクト抽出手段と、
前記オブジェクト抽出手段によって抽出されたオブジェクトから、前記オブジェクトの
信頼度に応じて特徴部分を抽出する特徴抽出手段と、

前記特徴抽出手段によって抽出された特徴部分を含むオブジェクトに対してマスキング
処理を行うとともに、前記画像データよりも過去の画像データに含まれる、前記特徴部分
として抽出される前の同じオブジェクトに対してマスキング処理を行う画像処理手段とを
有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記画像処理手段は、前記特徴部分の動き情報に基づいて、前記過去の画像データに含
まれる前記特徴部分であるオブジェクトに対してマスキング処理を行うことを特徴とする
請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記特徴抽出手段は、前記オブジェクトの信頼度が所定の値以上である場合に特徴部分
として抽出し、

前記画像処理手段は、前記過去の画像データにおいて前記特徴部分であるオブジェクト
の信頼度が所定の値未満である場合に、前記オブジェクトに対してもマスキング処理を行
うことを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項4】

被写体を撮像して画像データを生成する撮像手段と、

前記撮像手段により生成された画像データからオブジェクトを抽出するオブジェクト抽
出手段と、

前記オブジェクト抽出手段によって抽出されたオブジェクトから、前記オブジェクトの
信頼度と前記撮像手段の撮像情報に基づいて特徴部分を抽出する特徴抽出手段と、

前記特徴抽出手段によって抽出された特徴部分を含むオブジェクトに対してマスキング
処理を行うとともに、前記画像データよりも過去の画像データに含まれる、前記特徴部分
として抽出される前の同じオブジェクトに対してマスキング処理を行う画像処理手段とを

有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 5】

前記撮像情報は、フォーカス情報であることを特徴とする請求項4に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記撮像情報は、撮影モードであることを特徴とする請求項4に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記オブジェクト抽出手段によって抽出されるオブジェクトは、個人を特定するプライバシー情報であることを特徴とする請求項1 ~ 6の何れか1項に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

画像データからオブジェクトを抽出するオブジェクト抽出工程と、

前記オブジェクト抽出工程において抽出されたオブジェクトから、前記オブジェクトの信頼度に応じて特徴部分を抽出する特徴抽出工程と、

前記特徴抽出工程において抽出された特徴部分を含むオブジェクトに対してマスキング処理を行うとともに、前記画像データよりも過去の画像データに含まれる、前記特徴部分として抽出される前の同じオブジェクトに対してマスキング処理を行う画像処理工程とを有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 9】

被写体を撮像して画像データを生成する撮像工程と、

前記撮像工程において生成された画像データからオブジェクトを抽出するオブジェクト抽出工程と、

前記オブジェクト抽出工程において抽出されたオブジェクトから、前記オブジェクトの信頼度と前記撮像工程における撮像情報とに基づいて特徴部分を抽出する特徴抽出工程と、

前記特徴抽出工程によって抽出された特徴部分を含むオブジェクトに対してマスキング処理を行うとともに、前記画像データよりも過去の画像データに含まれる、前記特徴部分として抽出される前の同じオブジェクトに対してマスキング処理を行う画像処理工程とを有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 10】

画像データからオブジェクトを抽出するオブジェクト抽出工程と、

前記オブジェクト抽出工程において抽出されたオブジェクトから、前記オブジェクトの信頼度に応じて特徴部分を抽出する特徴抽出工程と、

前記特徴抽出工程において抽出された特徴部分を含むオブジェクトに対してマスキング処理を行うとともに、前記画像データよりも過去の画像データに含まれる、前記特徴部分として抽出される前の同じオブジェクトに対してマスキング処理を行う画像処理工程とをコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 11】

被写体を撮像して画像データを生成する撮像工程と、

前記撮像工程において生成された画像データからオブジェクトを抽出するオブジェクト抽出工程と、

前記オブジェクト抽出工程において抽出されたオブジェクトから、前記オブジェクトの信頼度と前記撮像工程における撮像情報とに基づいて特徴部分を抽出する特徴抽出工程と、

前記特徴抽出工程によって抽出された特徴部分を含むオブジェクトに対してマスキング処理を行うとともに、前記画像データよりも過去の画像データに含まれる、前記特徴部分として抽出される前の同じオブジェクトに対してマスキング処理を行う画像処理工程とをコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 12】

請求項10又は11に記載のプログラムを記憶したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の画像処理装置は、画像データからオブジェクトを抽出するオブジェクト抽出手段と、前記オブジェクト抽出手段によって抽出されたオブジェクトから、前記オブジェクトの信頼度に応じて特徴部分を抽出する特徴抽出手段と、前記特徴抽出手段によって抽出された特徴部分を含むオブジェクトに対してマスキング処理を行うとともに、前記画像データよりも過去の画像データに含まれる、前記特徴部分として抽出される前の同じオブジェクトに対してマスキング処理を行う画像処理手段とを有することを特徴とする。